



2022年8月8日

各 位

会 社 名 GMO フィナンシャルゲート株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 杉山 憲太郎  
 (コード番号 4051 東証グロース)  
 問合せ先 取締役 管理本部長 池澤 正光  
 (TEL 03-6416-3881)

## 2022年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年8月8日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2021年11月11日付に公表いたしました2022年9月期（2021年10月1日～2022年9月30日）の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 当期の連結業績予想数値の修正（2021年10月1日～2022年9月30日）（百万円未満切り捨て）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	8,550	737	737	461	111.90
今回修正予想（B）	9,800	737	737	461	111.90
増 減 額（B－A）	1,250	—	—	—	—
増 減 率（%）	14.6	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （2021年9月期）	7,089	589	619	411	101.98

## 2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間の経営成績が、売上高7,446百万円（前回発表予想の8,550百万円に対する進捗率、87.1%）と好調に推移したことにより、前回発表予想に対する差異が生じる見込みとなりましたことから、上記のとおり業績予想の修正をお知らせいたします。

## （売上高）

当第3四半期連結累計期間における売上高につきましては、まず、イニシャル売上が決済端末「stera」を中心とした端末販売が牽引し好調に推移いたしました。また、ストック型売上につきましても、一部の加盟店にて第2四半期連結会計期間中のまん延防止等重点措置の発令による影響は受けましたが、新規加盟店における稼働端末台数の積み上げを主因とした決済取扱件数・金額が大きく増加し、概ね順調に推移してまいりました。その結果として、売上高合計は7,446百万円と、前回発表予想に対する進捗率は標準

日数進捗率を10%以上上回る結果となりました。

以上の内容と、第4四半期連結会計期間における端末販売の予想、並びに再び拡大しておりますコロナ禍による影響も踏まえたストック型売上の推移予想につき改めて検証致しました結果、売上高の予想数値を上記のとおり上方修正いたしました。

(利益)

当第3四半期連結会計期間(2022年4月～6月)は、従業員向けの賞与引当金の積み増しなどを主要因として販売費および一般管理費が増加しましたが、当第3四半期連結累計期間における営業利益の実績は563百万円(前回発表予想に対する進捗率、76.5%)と堅調に推移しております。一方で、売上高の上方修正における主要因であるイニシャル売上(端末販売)の粗利率はストック型売上に比して相対的に低位にあること、加えてコロナウイルス感染拡大はストック型売上にマイナス影響を及ぼしやすいことから、売上総利益の大幅な積み上げまでは見込みにくい環境にあります。加えて、連結営業利益が通期予想を上回る場合は、将来成長への投資として、人財に対し業績を反映した賞与による成果還元、将来成長や管理態勢の強化に向けた採用費の支出、業務インフラの整備等の実施をする予定であることから、予想を大きく上回ることまでは見込みにくく、従来見通しを据え置くことといたします。

- ※ 上記に記載した業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上